

なかりが大切

違う。いろいろな面で今まで以上に難しいと感じているが、仕事は人と人のつながりが大切。これまでもお世話になった恩を返したい」と話す。

コロナ禍、人材・人手不足、働き方改革など経営環境としては好材料が少ない状況。「多くの従業員を守り、会社を継続していくためには、まだまだやらなければならぬことがたくさんあると実感している。50周年記念のお祝いもあらためて検討したい」

来年度には新たに外国人技能実習生を受け入れるなど作業体制を強化し、近年自粛してきた安全衛生大会の復活で安全面の引き締めを図る。輝建安全衛生協会の代表を務めた時期もあり、建設業経営での無事故無災害の重要性は強く実感している。

1969年8月22日生まれ、喜茂別町出身。86年に札幌に出て道路舗装会社へ就職した。道転が好きで重機を中心に担当し、ほぼ一貫してオペレーターの仕事を行ってきた。

(豊岡幸雄)

最終年度分に
約1兆4500
億を盛り込
む「国土強
靱」にも30
を投じる。
「防災」に25

石狩で32ha

道農政部

又転均平工法整備

珍下回った。
専用のレーザープラウ
では、場の表土と心土を反
転耕起した後に整地する
工法。従来の表土を剥ぎ、
ブルドーザーで整地する工
法と比べ費用、施工時間
の大幅な軽減が図れる。
24年度は空知の砂浜東
第1地区（岩見沢）で7

建設などに賞状

年度防災功労者表彰



受け取る辻谷社長（左）

谷建設、札幌市宮の沢町
内会、鹿部リゾート駒ヶ
岳噴火災害対策協議会の
3団体。浦本元人副知事
が「皆さんが日頃から実
践している、さまざまな
取り組みが本道の防災減
災につながる」と述べ、
表彰状と盾を手渡した。

辻谷建設は弟子屈町の
谷川町、2月

保に加え、施設の老朽化
対策、環境負荷低減対策、
CLT（直交集成材）導
入などの取り組み促進を
求めた。

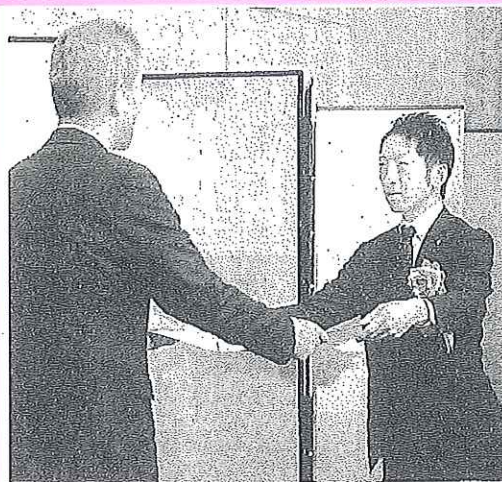
中央建設業審議会が勧
告した「二期に関する基
準」などを踏まえた適正
な工期設定や、BIM活
用による施工管理のDX

道水産林務部

22者に感謝状贈呈

24年度工事等優秀業者に

道水産林務部は17日、
札幌ガーデンパレスで2
024年度工事等優秀業
者感謝状贈呈式を開い
た。高い技術力と確実な
業務執行で高品質な実績
を残した工事・委託部門
の22者に岡嶋秀典水産林
務部長が表彰状を伝達し



た。
この表彰は、1980
年度から森林土木、86年
度から委託、89年度から
水産土木で実施してい
る。施行成績や地域貢献
などから総合的に評価
された。今後とも、それぞ

し、特に優れた業者の功
績をたたえる。
2024年度は、工事
で水産土木8者、森林土
木12者、委託で水産土
木1者を選定した。

岡嶋部長は「海上や山
間地といった厳しい作業
環境にもかかわらず、適
切な施工管理と優秀な技
術によって特に素晴らしい
成績で工事や業務をさ
げた。今後とも、それぞ

道水産林務部

57者の栄誉たたえる

社会・産業貢献表彰式

道水産林務部は17日、
札幌ガーデンパレスで同
部関連の北海道社会貢
献と産業貢献表彰の表彰
式を開いた。社会貢献30
者、産業貢献27者を選
出し、三橋副知事が社
会貢献賞の9者、産業貢
献賞の22者に賞状を手渡
した。

水産分野では、海難救
助や漁船事故防止などが
対象となり、森林分野で
は森林保護や自然学習
などに携わった個人、団体
が受賞した。

社会貢献賞の表彰式で
三橋副知事は、「それぞ
れの分野で献身的に尽力
してきた受賞者に敬意を
表す」とたたえた。

北海道海難防止・水難
救助や漁船事故防止、

受賞者に表彰状を贈呈し
た



森林づくり
について努
力を尽く
す」と謝辞
を述べた。
産業貢
献賞では、来
賓として富
原議長は、ほ
か北海道林
業協会の有
末道弘会長
が受賞者の
努力をねぎ
らった。北
海道漁業協同組合連合会
の伊藤貴彦代表理事常務
は阿部国雄代表理事会長
の祝辞を代読した。